

3/19 (火) 2024  
17:00-19:00

オンライン (Zoom) 講座

東京医科歯科大学病院 市民公開講座

# 新薬開発に重要な 「治験」を 正しく理解する セミナー

新しい薬の開発の現状とその将来  
～分散型臨床試験

定員

なし

受講料

無料

応募締切

なし

プログラム

国内の医薬品開発の現状と課題

1 東京医科歯科大学病院 臨床試験管理センター  
センター長 小池竜司

2 治験における同意取得 (模擬ビデオ)

3 実際に治験に参加した患者さんからの  
メッセージ

(休憩 15分程度)

分散型臨床試験 (DCT)

～誰一人取り残さない医療のために

4 東京医科歯科大学病院 臨床試験管理センター  
副センター長 長堀正和

▷お問合せ

東京医科歯科大学病院 臨床試験管理センター (D棟サテライト)

住所: 〒113-8510 東京都文京区湯島1-5-45

電話: 03-5803-4833 (平日10時~16時)

▷事前登録

右のQRコードから事前登録をお願いします



国立大学法人  
東京医科歯科大学  
TOKYO MEDICAL AND DENTAL UNIVERSITY



【講座の概要】 通常の保険診療において患者さんが新しい医薬品の恩恵を受けるには、治験という臨床試験を通して、その効果や安全性が証明され、厚生労働省から医薬品としての承認を受ける必要があります。一方、様々な理由により、海外では承認されている医薬品が、我が国では承認されない（「ドラッグ・ロス」）という問題も生じています。また、既存の医薬品が効果のない患者さんでは、治験による治療に大きな期待を寄せることも少なくありません。しかし、治験に参加するためには、治療そのものや検査等の

ために、治験を実施している医療機関へ足を運ぶ必要があり、ご自身の病気やお住まいの場所などの制約により、治験への参加が難しいこともあります。今回の講座では、本邦の医薬品開発の現状と課題及びその課題への1つの答えともなりうる新たな取り組みとしての分散型臨床試験 (DCT) についてお話をしたいと思います。治験は患者さんの協力及び患者さんのご家族を含めた国民の理解が必要です。是非、病気をお持ちの有無に関わらず、多くの方のご参加をお待ちしております。